

特集

品川区立八潮南小学校で、

● 学校内の「仮想の街」で、経済活動を体験

品川区では、平成15年度から、保護者や地域の人たちの参加・協力のもと、子どもたちが、社会や経済の仕組み、地域における個人の役割を理解していくために、学校の中に、実際に近い街と店舗を再現し、生の経済活動などを体験的に学習する「スチューデント・シティ」がスタートしました。子どもたちは、自分が選んだ企業などの仕事を通じて、会社の営業活動や会計処理を行ったり、消費者にもなり、計画的に商品を買ったりしていきます。このプログラムは、「総合的な学習の時間」の授業の一環として、区内のすべての小学5年生を対象に実施されます。

● 本物の「区役所」「銀行」「コンビニエンスストア」などが余裕教室に

この「スチューデント・シティ」は、品川区教育委員会と子どもたちに自分の意思で進路選択や将来設計に臨ませるためのプログラムを提供する、アメリカに本部を置くNPO経済教育団体「ジュニア・アチーブメント」とが共催する事業で、子どもたちに実体験的な経済活動を通して、市民としての自覚を



社員への給料の振り込み

高めるとともに、豊かな社会性を育んでいくことをねらいとして実施しています。実施会場は、区立八潮南小学校内の余裕教室（北棟2階4教室及び多目的教室）を活用しています。その約518平方メートルの空間がブースに分かれ、架空の「区役所」や「銀行」、「警備会社」、「コンビニエンスストア」など、まさに「本物」の各業種の店舗や事業所が入っています。企業名の入った本物の看板やカウンターなどが設けられ、業務用パソコンや商品の現物が並べられています。社員同様に子ども用の制服を用意している企業もあります。「スチューデント・シティ」内にある店舗は、実際の企業が出店する形をとっており、店舗内には、各企業の社員やボランティアが入り、子どもたちに、経営の仕方や接客など細かくアドバイスしていきます。

● 経営者や会社勤めを通じて — お互いに支え合う社会の意味を学ぶ —

「スチューデント・シティ」では、グループに分かれた子どもたちが交代で店舗経営者や企業側の社員、また、消費者の役を務めることになります。子どもたちは、保護者、企業のボランティアなどと一緒に、会社に勤めたり、経営者になったりし



電子マネーで買い物

アクセス ポイント

このコーナーでは、学校支援や青少年の奉仕・体験活動について、アクセスできる団体や機関等を紹介しています。なお、ホームページ等をご覧になってプログラム等を利用するには、必ず直接、当該団体・機関等と連絡をお取りいただき、相談されるようお願いいたします。

▶ 学校内外を通じた体験活動、ボランティア活動を支援 全国体験活動ボランティア活動総合推進センター(愛称:タイボ)

学校内外を通じた体験活動やボランティア活動の機会の充実をめざして文部科学省が国立教育政策研究所社会教育実践研究センター(上野庁舎)に設置しました。

同センターではコーディネーターが体験活動・ボランティア活動に関する全国規模の団体等の情報や資料の提供、イベント等行事紹介、書籍・定期刊行物の紹介等を行っています。また、同センターのホームページで各地方自治体や都内に設置されている支援センターの連絡先や活動事例なども紹介しています。

● 開室時間:年末年始、土・日・祝日を除き午前10時から午後5時まで ● 所在地:東京都台東区上野公園12-43 JR鶯谷駅南口下車徒歩8分

【ホームページ】<http://volunteer.nier.go.jp> 【電話】03-3823-8687